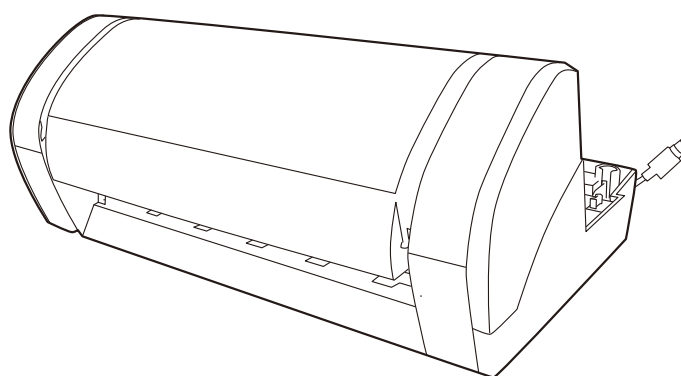


# fi-614PR インプリンタ

---

## オペレーターガイド



# 目次

はじめに.....	1
<b>第 1 章 お使いになる前に .....</b>	<b>5</b>
1.1. 本体と付属品の確認.....	5
1.2. インプリンタ外観 .....	5
<b>第 2 章 インプリンタ 設置と接続 .....</b>	<b>6</b>
2.1. インプリンタの取り付け.....	6
2.2. プリントカートリッジの取り付け.....	7
2.3. 動作確認.....	8
<b>第 3 章 基本的な操作方法 .....</b>	<b>10</b>
3.1. 印刷位置の合わせ方.....	10
3.2. 原稿づまり防止ガイドの使い方 .....	10
3.3. 印刷設定 .....	11
3.4. プリントカートリッジの交換.....	11
3.5. 原稿づまりの解除方法.....	13
<b>第 4 章 日常のお手入れ .....</b>	<b>14</b>
4.1. プリントカートリッジの清掃.....	14
4.2. インプリンタの清掃.....	14
4.3. ローラーの清掃.....	15
4.4. 清掃用品 .....	15
<b>第 5 章 エラーメッセージ .....</b>	<b>16</b>
<b>第 6 章 仕様.....</b>	<b>17</b>
<b>修理・お問い合わせ.....</b>	<b>18</b>

お願い

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

# はじめに

このたびは、fi-614PR インプリンタをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

fi-614PR インプリンタは、fi-6130/fi-6140/fi-6130Z/fi-6140Z イメージスキャナで使用するオプションユニットです。

本書は、fi-614PR インプリンタ(以降、インプリンタと表記)の使い方について説明しています。本書に従って正しくご使用ください。

fi-6130/fi-6140/fi-6130Z/fi-6140Z イメージスキャナ(以降、スキャナと表記)の使い方については、スキャナに添付されている Setup DVD-ROM 内の『fi-6130/fi-6230 イメージスキャナ オペレーターガイド』、『fi-6140/fi-6240 イメージスキャナ オペレーターガイド』、または『fi-6130Z/fi-6230Z/fi-6140Z/fi-6240Z イメージスキャナ オペレーターガイド』を参照してください。

消耗品の交換方法など大切な情報が記載されておりますので、大切に保管してください。

本書がインプリンタを活用していただくために、皆様のお役に立つことを願っております。

2011年6月

## 安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に本書に記載されている「安全上のご注意」を必ずお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

## 開発・販売元

株式会社 PFU  
〒212-8563  
神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地  
(ソリッドスクエア東館)  
TEL: 044-540-4538

## 商標および登録商標

Microsoft、Windows、Windows Server、および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

## 商標の表記

本書では、次の名称について省略して記載しています。

名称	本文中の表記
Windows <sup>®</sup> XP Home Edition (Service Pack 3 以降) Windows <sup>®</sup> XP Professional (Service Pack 3 以降) Windows <sup>®</sup> XP Professional x64 Edition (Service Pack 2 以降)	Windows XP
Windows Server <sup>®</sup> 2003, Standard Edition Windows Server <sup>®</sup> 2003, Standard x64 Edition Windows Server <sup>®</sup> 2003 R2, Standard Edition (Service Pack 2 以降) Windows Server <sup>®</sup> 2003 R2, Standard x64 Edition (Service Pack 2 以降)	Windows Server 2003
Windows Vista <sup>®</sup> Home Basic (Service Pack 1 以降) (32/64bit) Windows Vista <sup>®</sup> Home Premium (Service Pack 1 以降) (32/64bit) Windows Vista <sup>®</sup> Business (Service Pack 1 以降) (32/64bit) Windows Vista <sup>®</sup> Enterprise (Service Pack 1 以降) (32/64bit) Windows Vista <sup>®</sup> Ultimate (Service Pack 1 以降) (32/64bit)	Windows Vista
Windows Server <sup>®</sup> 2008 Standard (32/64bit) Windows Server <sup>®</sup> 2008 R2 Standard (64bit)	Windows Server 2008
Windows <sup>®</sup> 7 Home Premium (32/64bit) Windows <sup>®</sup> 7 Professional (32/64bit) Windows <sup>®</sup> 7 Enterprise (32/64bit) Windows <sup>®</sup> 7 Ultimate (32/64bit)	Windows 7

上記すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

## ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的な用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

## 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

## グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準(リサイクル、省エネルギー化、環境にやさしい素材の採用など)をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。

詳細は富士通ホームページ「富士通の環境活動」をご参照ください。



いつも地球を見守っている

<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/>

## メンテナンス

本製品の修理はお客様自身で行わないでください。

ご自身で分解した場合は保証の対象外となり、分解によって発生するどのような損害に対しても当社では一切責任を負いかねます。修理が必要な場合は、本製品を購入された販社/販売店またはPFUイメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

## 使用済製品の廃棄とリサイクルについてのお願

個人でご購入のお客様が本製品(付属品を含む)を廃棄する場合は、地方自治体の条例等に従って適切に処理してください。

法人、企業のお客様が本製品(付属品を含む)を廃棄する場合は、産業廃棄物扱いで適切に処理してください。

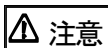
## 本書で使用している警告表示

本書では、本製品を安全に、かつ正しくお使いいただき、お客様やほかの人々に加えらるおそれのある危害や損害を未然に防止するために、以下のような表示をしています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

## 本書で使用している記号

本書では、警告表示とは別に、説明文中に以下の記号を使用しています。



特に注意が必要な事項を記載しています。必ずお読みください。



操作に関するワンポイントアドバイスを記載しています。



三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵が描かれています。



丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



黒塗りの丸に白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

## 連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

例: 「スキャン」メニュー→「ドライバの設定」をクリックします。

## 本書に掲載している画面

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考にして、実際の画面に従って操作してください。

なお、本書に掲載している画面は、TWAIN ドライバのもので

本書では、Windows 7 の画面を例に説明しています。お使いのオペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。また、スキャナによっては、TWAIN ドライバをアップデートすると、本書で掲載している画面および操作が異なることがあります。その場合は、アップデート時に提供されるマニュアルを参照してください。

## 安全上のご注意

本製品に関する重要な警告事項は、以下のとおりです。本製品を安全にご使用いただくために、以下の記載事項を必ずお守りください。なお、以下の警告事項において電源ケーブルは、ACケーブルとACアダプターを接続したものを含みます。



### 電源ケーブルを傷つけない。



電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。また、電源ケーブルや電源プラグに傷みがある場合、または、コンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。

### 指定された電源ケーブルや接続ケーブルを使用する。



指定された電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。製品に添付された電源ケーブルをほかの製品に使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。



### 必ずアース接続をする。

感電のおそれがあります。必ずアースを接続してください。



### 表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。 たこ足配線しない。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。また、たこ足配線は避けてください。



### 濡れた手で電源ケーブルを触らない。

濡れた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



### 電源プラグのほこりは、よくふき取る。

電源プラグの金属部、および金属部の取り付け面にほこりが付着している場合は、乾いた布でよくふいてください。火災や感電の原因となることがあります。



### 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。



### 異臭がしたら使用しない。

万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、直ちに機器本体の[Power]ボタンを押して電源を切断し、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、本製品を購入された販社/販売店またはPFUイメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。



### 機器を破損したら電源を切断する。

機器を落としたり、カバーなどを破損したりした場合は、機器本体の[Power]ボタンを押して電源を切断し、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、本製品を購入された販社/販売店またはPFUイメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

### 内部に水や異物を入れない。



- 開口部(通気口など)から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気を付けてください。
- 本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。



### 内部に水や異物を入れない。



異物(水、金属片、液体など)が機器の内部に入った場合は、直ちに機器本体の[Power]ボタンを押して電源を切断し、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、本製品を購入された販社/販売店またはPFUイメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。特にお子様のいるご家庭では注意してください。



### 異常が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜く。

異常発生時には、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。



### むやみに内部を開かない。

装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。



### 本装置は日本国内専用です。

本装置は日本国内専用です。海外などで使用すると、火災や感電の原因になる場合があります。



### エアスプレーを使用しない。

清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコール等を含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。また、静電気などによるスパーク(火花)により引火するおそれがあります。

**⚠ 注意**

**装置を不安定な所に置かない。**



・ 装置のどの部分も設置する机から突き出さないように置いてください。また、装置は底部の水平な部分を保持してください。



・ 装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。



**電源プラグを確実に差し込む。**

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。



**通気口をふさがない。**

通気口をふさがますと、装置の内部が高温になるため、火災や故障の原因となることがあります。通気口をふさがないでください。



**装置の上に重いものを載せない、上に乗らない。**

装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。けがの原因となることがあります。



**寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させた場合は、すぐに使用しない。**

寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、機器が結露する場合があります。そのまま使用すると、原稿読み取り不良となる場合があります。暖かい部屋に1～2時間放置して、内部が乾いてから、使用してください。



**装置を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く。**

ケーブルを接続したまま装置を移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。



**静電気を避ける。**

強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させると、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。



**歯車やローラーなどに衣服やネクタイ、ネックレス、髪を巻き込まれないようにする。**

歯車やローラーなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、ネックレス、髪を巻き込まれないようにしてください。けがの原因となることがあります。



**長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。**

長時間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



**直射日光の当たる場所に置かない。**

直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性のよい場所で使用してください。

# 第1章 お使いになる前に

## 1.1. 本体と付属品の確認

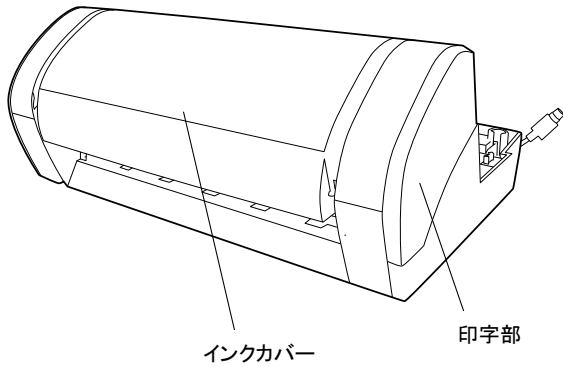
添付の「本体と付属品の確認 (リスト)」をご確認の上、梱包品がすべて揃っているかどうかを確認してください。

万一、足りないものや不良品がありましたら、本製品を購入された販社/販売店または PFU イメージングサービス&サポートセンターまでご連絡ください。なお、本体と付属品は丁寧に取り扱いってください。

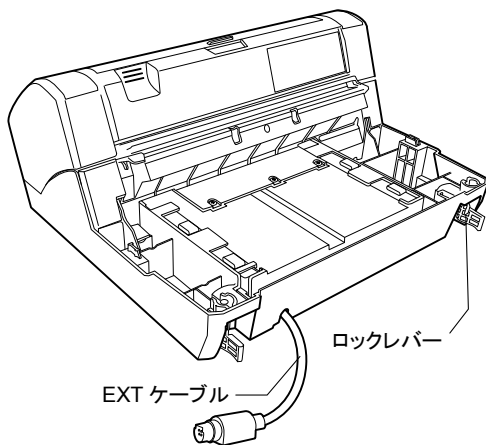
## 1.2. インプリンタ外観

### <インプリンタ単体>

前面



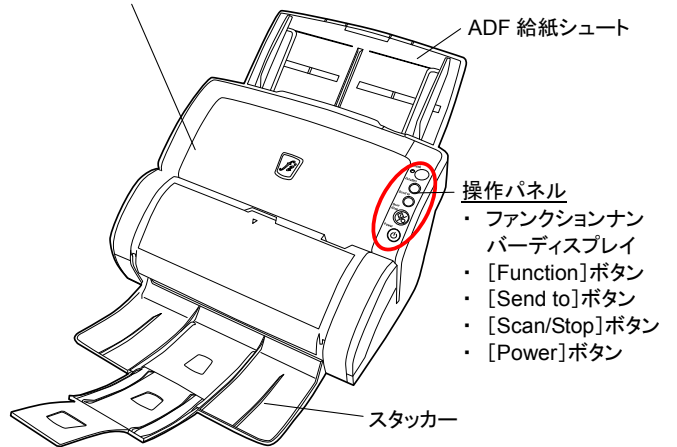
背面



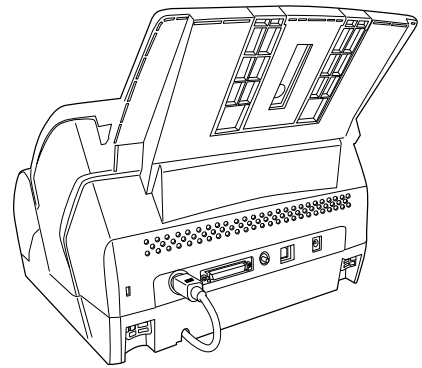
### <スキャナ搭載時>

前面

ADF (自動給紙機構)

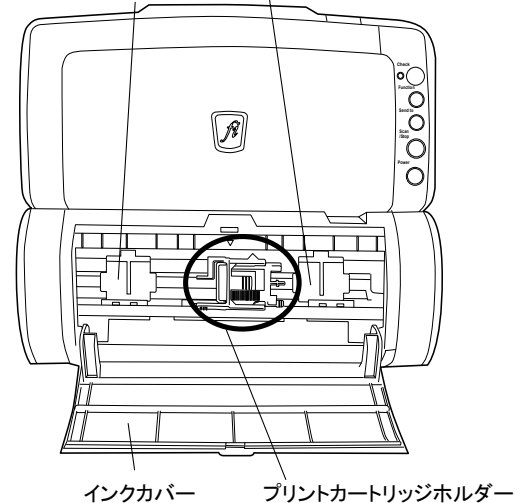


背面



### <インプリンタ内部>

原稿づまり防止ガイド

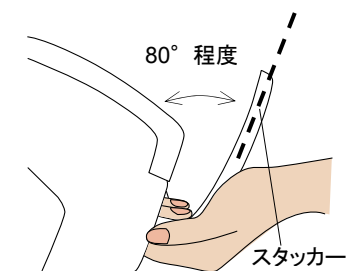


## 第2章 インプリンタ設置と接続

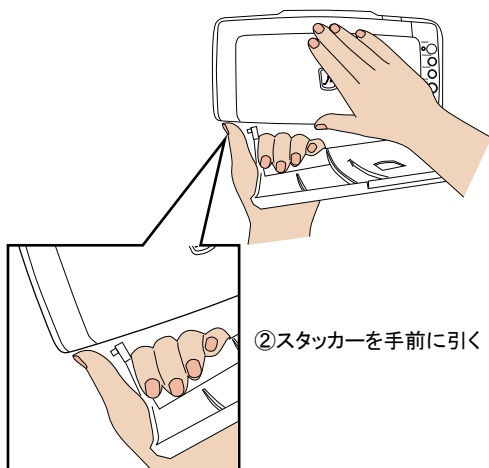
### 2.1. インプリンタの取り付け

以下の手順でインプリンタを取り付けます。

1. スキャナの電源を切断し、電源ケーブルを抜きます。
2. スキャナからスタッカーを取り外します。
  - 1) スタッカーの左端を左手で持ちます。



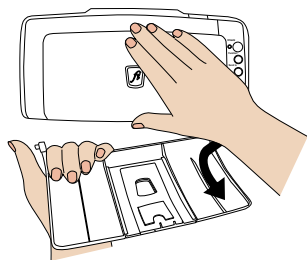
- 2) 親指でスキャナを押しながらスタッカーを手前に引きま  
す。



①親指でスキャナを押し

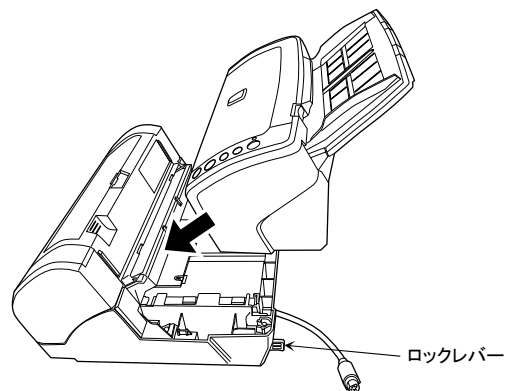
②スタッカーを手前に引く

- 3) スタッカーの左側が外れたら、右側を外します。



インプリンタを取り付ける前に、必ずスタッカーを外してください。

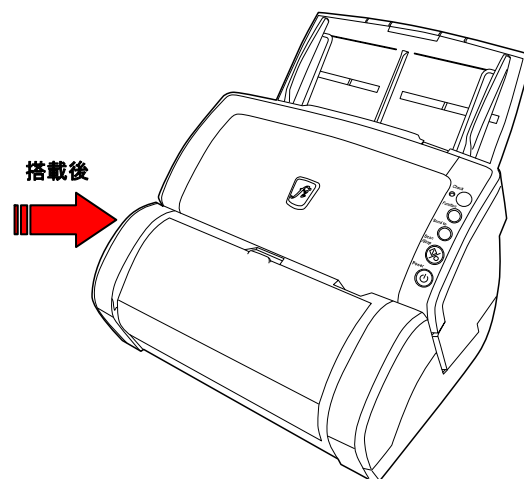
3. インプリンタにスキャナを搭載します。



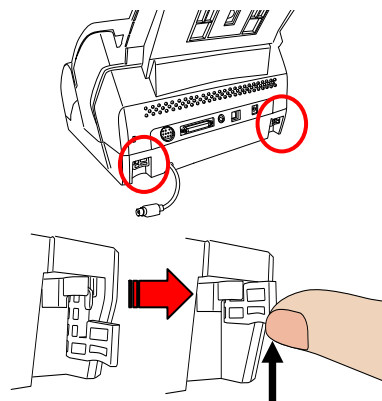
スキャナを、後方斜め上から、インプリンタ前部に  
つきあてるようにセットします。



指をはさまないように、注意してください。

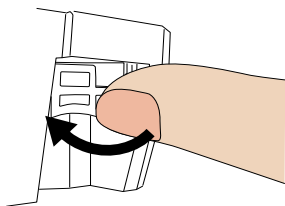


4. ロックレバーを上げます(背面2箇所)。

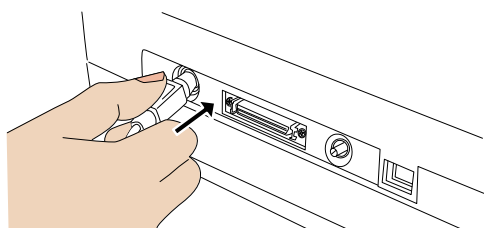




5. ロックレバーを内側に回します。

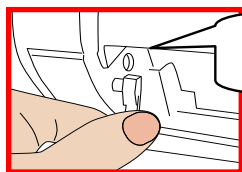
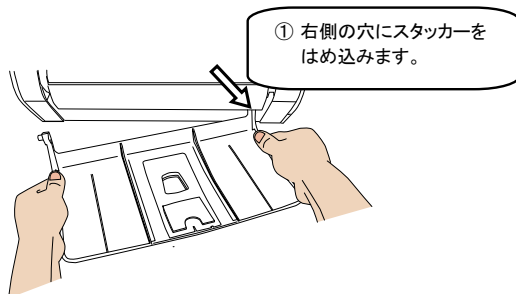


6. EXT ケーブルを、スキャナ背面のコネクターに接続します。



EXT ケーブルを接続しないと、インプリンタの駆動系が動作しません。  
この状態で読み取りを行うと、インプリンタ内で原稿づまりが発生します。

7. インプリンタ前面に手順 2 で取り外したスタッカーを取り付けます。



8. 電源ケーブルを接続します。

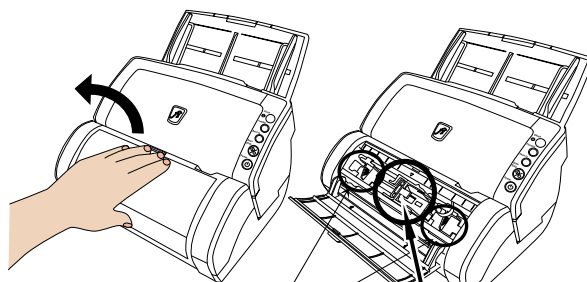
## 2.2. プリントカートリッジの取り付け

以下の手順でプリントカートリッジを取り付けます。



プリントカートリッジの取り付け時は、プリントカートリッジの誤挿入に注意してください。

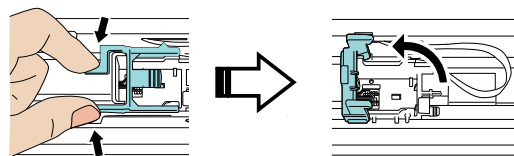
1. スキャナの電源を切断します。
2. インクカバーの中央に手をかけ、図のように開きます。



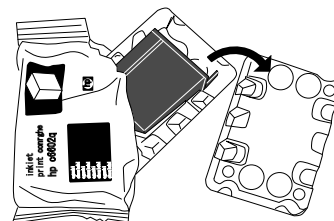
原稿づまり防止ガイド

プリントカートリッジホルダー

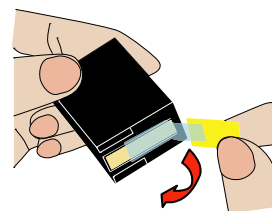
3. プリントカートリッジホルダーと原稿づまり防止ガイドを固定しているテープをはがします。
4. 図のように親指と人差し指でつまみながら、プリントカートリッジホルダーのレバーを開きます。



5. 袋からプリントカートリッジを取り出します。

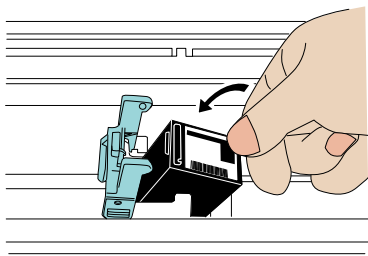



6. プリントカートリッジの保護テープをはがします。



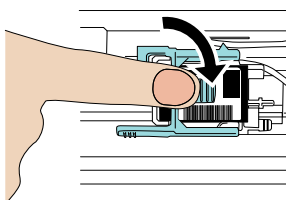
金属部分に触れたり、テープを貼り直したりしないでください。

7. プリントカートリッジのつまみが右側になるように挿入します。

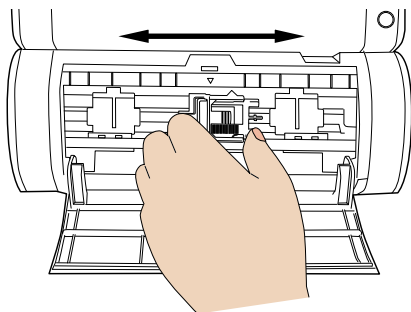


 プリントカートリッジを配線フィルムに引っ掛けて、配線フィルムを破損しないように注意してください。

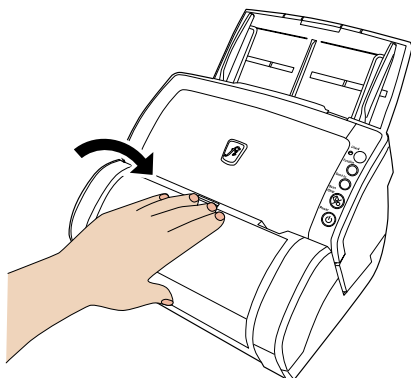
8. プリントカートリッジホルダーのレバーをロックがかかるまでゆっくりと下げて、プリントカートリッジを固定します。



9. プリントカートリッジを印刷位置に移動します。  
原稿が通過する位置にセットしてください。



10. インクカバーを閉じます。



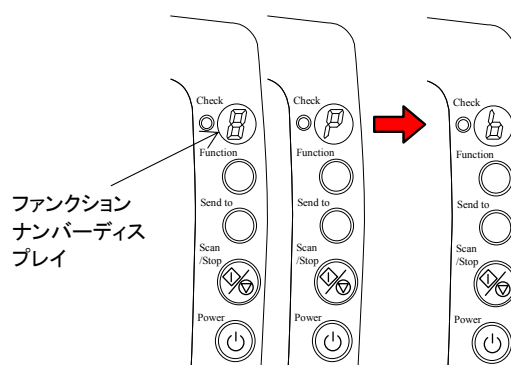
## 2.3. 動作確認

インプリンタの取り付けが終了したら、スキャナのオフライン印字テストモードで文字の印刷ができることを確認してください。

1. スキャナ操作パネル上の[Function]ボタンを押しながら、[Power]ボタンを押します。

[Function]ボタンは押したままにします。

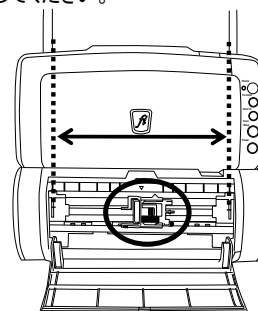
2. ファンクションナンバーディスプレイが[P]から[b]に変化したら、[Function]ボタンを離します。



3. スキャナに白紙をセットします。



- A4 または、レターサイズの紙をご使用ください。長さが短い場合は、途中でしか印字されないことがあります。
- プリントカートリッジの位置が紙幅内にあることを確認してください。



4. [Scan/Stop]ボタンを押します。

⇒紙が搬送され、先端 5mm からテストパターンが印字されます (誤差±4mm)。



印字されるテストパターンには以下のものがあります。

**テストパターン 1(横書き):**

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^\_`00000000

**テストパターン 2(横書き):**

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~ 00000000

**テストパターン 3(横書き):**

!"#\$%&()\*+,-./0123456789:;<=>?@00000000

**テストパターン 4(縦書き):**

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^\_`00000000

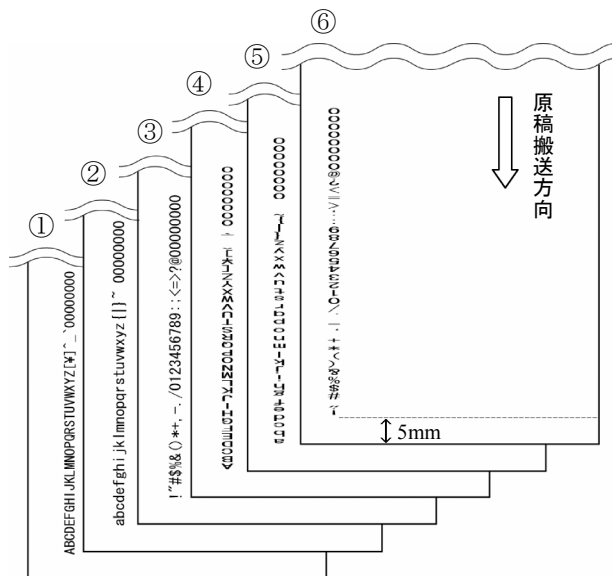
**テストパターン 5(縦書き):**

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~ 00000000

**テストパターン 6(縦書き):**

!"#\$%&()\*+,-./0123456789:;<=>?@00000000

紙を複数枚セットした場合、テストパターン 1~6  
が、順番に繰り返し印字されます。  
また、“00000000”の部分は、0 から始まり、1 刻み  
でカウントされます。  
(1 パターン印刷するごとに、動作が停止するの  
で、印字を継続する場合は、[Scan/Stop] ボタンを  
押してください。)



テストパターンの印字サンプル

5. 印字テストモードを終了する場合は、[Power] ボタンを押してスキャナの電源を切断します。

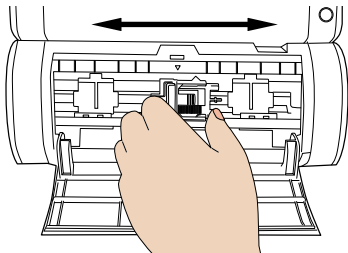
## 第3章 基本的な操作方法

### 3.1. 印刷位置の合わせ方

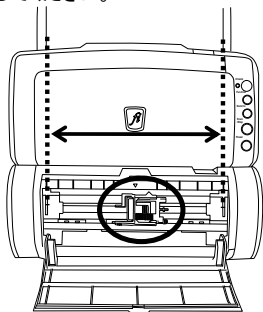
以下のように印刷位置の設定を行います。

1. インクカバーを開きます。
2. プリントカートリッジを印刷位置に移動します。

図のようにプリントカートリッジをつかんで左右にスライドさせ、原稿幅の範囲内で、目的の位置にセットしてください。

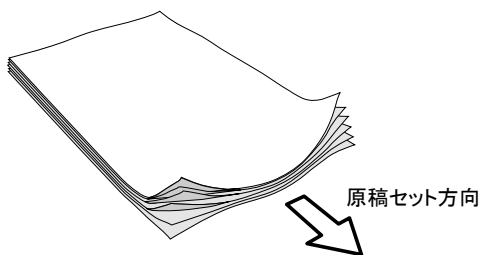


- プリントカートリッジホルダー上の「▲」部の位置に印字ヘッドがあります。印字位置の目安にしてください。
- プリントカートリッジ上方に、原稿サイズの見盛りが刻まれています。原稿幅の目安にしてください。
- 実際に読み取る原稿をスキャナにセットして、プリントカートリッジの位置が紙幅内にあることを確認してください。



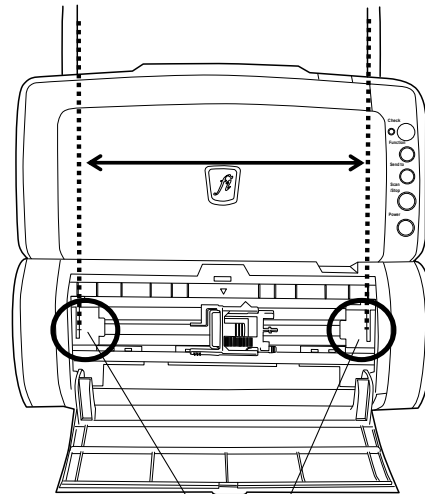
### 3.2. 原稿づまり防止ガイドの使い方

以下のように、先端がカールした原稿を使用する場合は、原稿づまりを防止するために、「原稿づまり防止ガイド」を使用してください。



以下のように、原稿の端が通過する部分に、原稿づまり防止ガイドを配置します。

1. 原稿をスキャナにセットします。
2. インクカバーを開きます。
3. 原稿づまり防止ガイドを、原稿の左右両端に、スライドさせます。

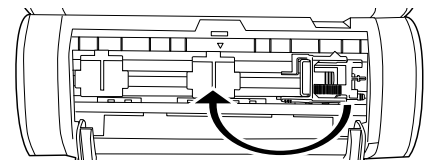


原稿づまり防止ガイド

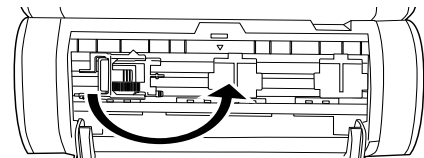


- 幅の広い原稿の端の方に印刷したいとき、原稿づまり防止ガイドが邪魔になる場合は、取り外して中央の開きスペースに取り付けてください。

右端に印刷する場合



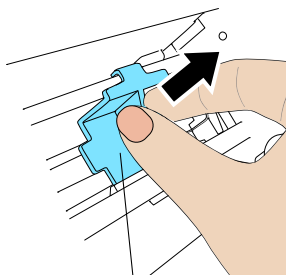
左端に印刷する場合



原稿づまり防止ガイドを配線フィルムに引っ掛けて、配線フィルムを破損しないように注意してください。

### <原稿づまり防止ガイドの外し方>

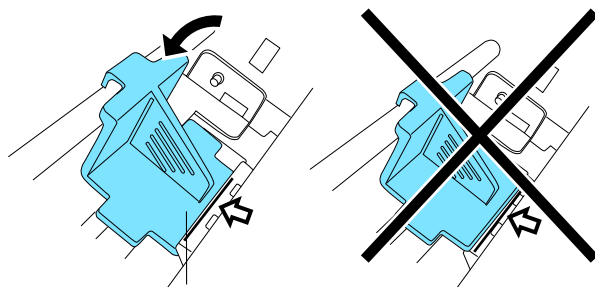
以下のように、指でつまみ、上に引っ張って取り外します。



原稿づまり防止ガイド

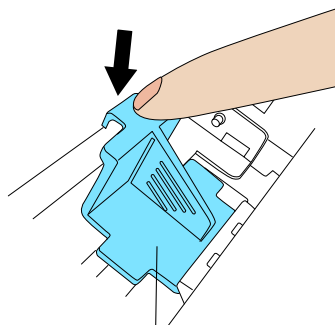
### <原稿づまり防止ガイドの取り付け方>

1. 左図のように原稿づまり防止ガイドを乗せます。



原稿づまり防止ガイド

2. 頭の部分を押しはめ込みます。



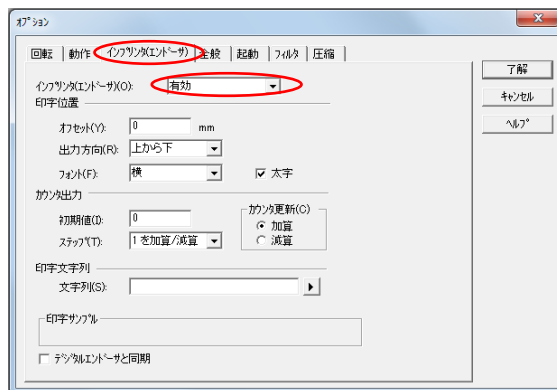
原稿づまり防止ガイド

## 3.3. 印刷設定

インプリンタの印刷設定は、スキャナドライバの設定画面上で行います。

### TWAINドライバの場合 (例)

[TWAIN ドライバ (32)]画面の [オプション]ボタンをクリックして、[オプション]画面の[インプリンタ(エンドーサ)]タブで設定を行います。



以下のような設定ができます。

- インプリンタの有効/無効
- 印字位置 (オフセット、出力方向、フォント)
- カウンタ出力 (初期値、ステップ、カウンタ更新)
- 印字文字列

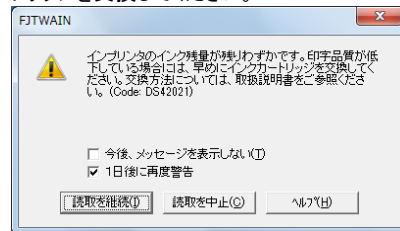
詳細は、『TWAINドライバ取扱説明書』または、TWAINドライバのヘルプを参照してください。

## 3.4. プリントカートリッジの交換

プリントカートリッジは消耗品です。以下の手順でプリントカートリッジを交換します。



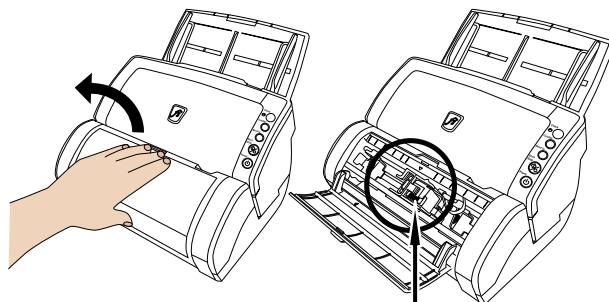
- 以下の画面が表示されたら、すみやかにプリントカートリッジを交換してください。



そのまま使いつづけると、印字かすれが発生する場合があります。

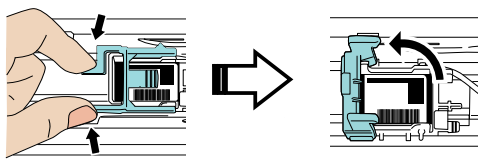
- プリントカートリッジの交換時は、プリントカートリッジの誤挿入に注意してください。

1. スキャナの電源を切断します。
2. インクカバーの中央に手をかけ、図のように開きます。

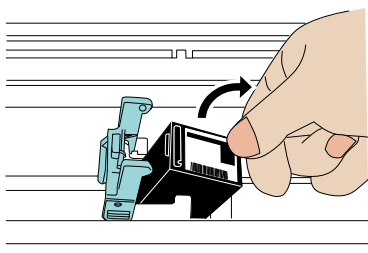


プリントカートリッジホルダー

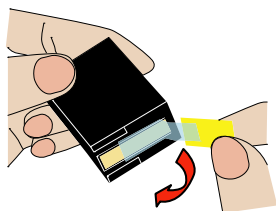
3. 図のように親指と人差し指でつまみながら、プリントカートリッジホルダーのレバーを開きます。



4. 古いプリントカートリッジを指でつまんで取り外します。

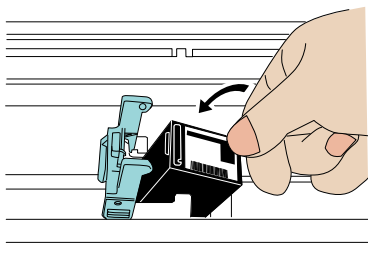


5. 新しいプリントカートリッジの保護テープをはがします。



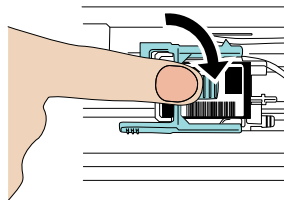
金属部分に触れたり、テープを貼り直したりしないでください。

6. プリントカートリッジのつまみが右側になるように挿入します。

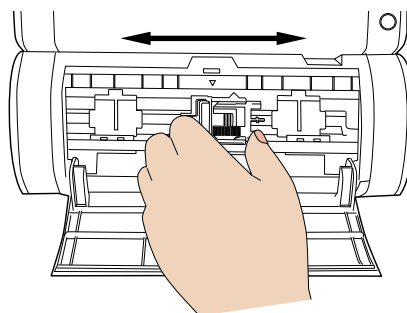


プリントカートリッジを配線フィルムに引っ掛けて、配線フィルムを破損しないように注意してください。

7. レバーをロックがかかるまでゆっくりと下げて、プリントカートリッジを固定します。

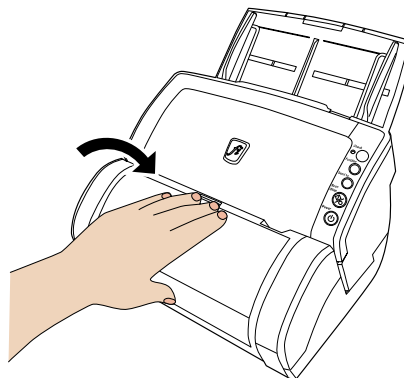


8. プリントカートリッジを印刷位置に移動します。  
原稿が通過する位置にセットしてください。



原稿の端ギリギリに印字する際は、プリントカートリッジの設定位置によっては印刷が原稿幅を超えてしまう場合がありますので、注意してください。

9. インクカバーを閉じます。



10. スキャナの電源を投入します。

11. 以下の方法で、インク残量カウンターをクリアします。

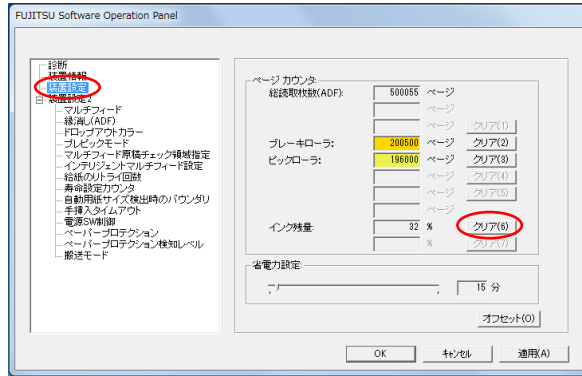


プリントカートリッジを交換後は、必ずインク残量カウンターをクリアしてください。

- ① [スタート]メニュー→「すべてのプログラム」→「Scanner Utility for Microsoft Windows」→「Software Operation Panel」の順にクリックします。

⇒「FUJITSU Software Operation Panel」画面が表示されます。

- 画面左のリストから「装置設定」をクリックし、「インク残量:」の[クリア]ボタンをクリックします。



⇒カウンター値が「100」になります。

- 「FUJITSU Software Operation Panel」画面の[OK]ボタンをクリックします。
- メッセージ画面が表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。  
⇒「FUJITSU Software Operation Panel」画面が終了し、インク残量カウンターがクリアされます。

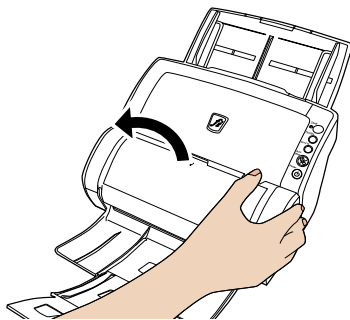
### 3.5. 原稿づまりの解除方法

原稿づまりが発生した場合、次の手順でつまった原稿を取り除いてください。



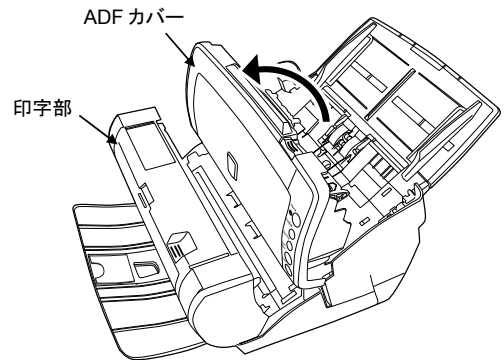
つまった原稿は無理に引き抜かず、カバーを開けてから取り除いてください。

- ADF 給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。
- 印字部の右端に手をかけ、図のように開きます。

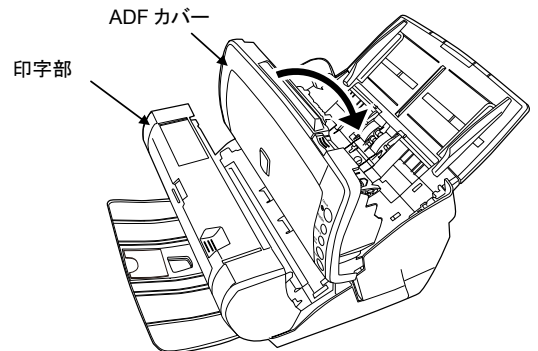


ADF カバーを開ける際は、必ず印字部を開いてから行ってください。

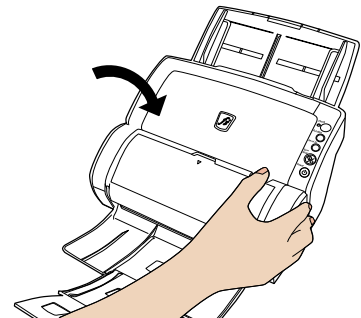
- ADF カバーを開けます。



- つまっている原稿を取り除きます。
- ADF カバーを閉めます。



- 印字部を閉めます。



印字部カバーを閉める際は、ADF カバーが閉じていることを確認してから行ってください。



指をはさまないように、注意してください。  
印字中にインプリンタを動かしたり、衝撃をあてたりしないでください。印字不良の原因になります。  
印字を行わない状態が長く続くときは、プリントカートリッジを装置から取り外すことを推奨します。印字を行わなくても、スキャナの電源投入時などにインクは消費されます。  
インプリンタをスキャナに取り付けた状態で輸送しないでください。インプリンタが破損するおそれがあります。



## 第4章 日常のお手入れ

### 4.1. プリントカートリッジの清掃

プリントカートリッジのノズルプレート面にインクなどのよごれが付着したり、しばらく使用せず放置した場合、目づまりなどにより文字が乱れる場合があります。このような状態になった場合、プリントカートリッジのノズルプレート面を清掃してください。

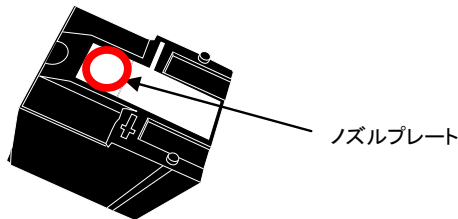


清掃には、ほこりの出にくい、乾いた布またはウェス（ティッシュペーパーは不向きです）を使用し、ノズルプレート面のよごれなどをやさしくふき取るようにしてください。



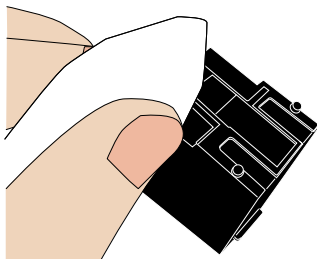
プリントカートリッジを清掃しても目づまりが解消できない場合は、新しいプリントカートリッジに交換してください。

1. スキャナの電源を切断します。
2. プリントカートリッジを取り外します。  
（「3.4. プリントカートリッジの交換」を参照）



接点部分およびノズルプレートに直接手で触れないように注意してください。印字不良や接点不良の原因になります。

3. ノズルプレート面のよごれなどをやさしくふき取ります。



4. よごれなどがふき取られたことを確認し、プリントカートリッジを取り付けます。  
（「3.4. プリントカートリッジの交換」を参照）



プリントカートリッジの取り付け時は、プリントカートリッジの誤挿入に注意してください。

### 4.2. インプリンタの清掃

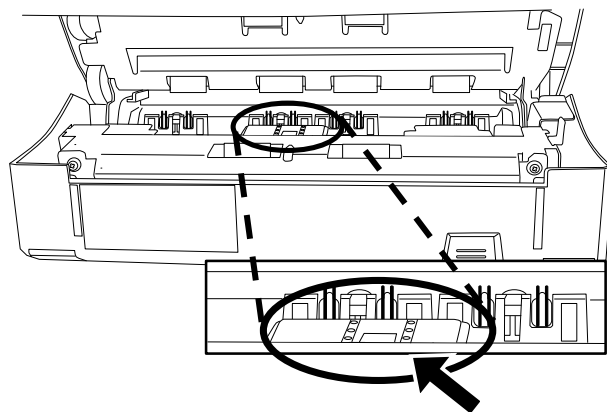
印字処理枚数が多くなると、プリントカートリッジホルダーの底面にインクなどのよごれが付着し、原稿がよごれる場合があります。

以下の手順で、日常のお手入れとして、プリントカートリッジホルダーの底面を清掃してください。

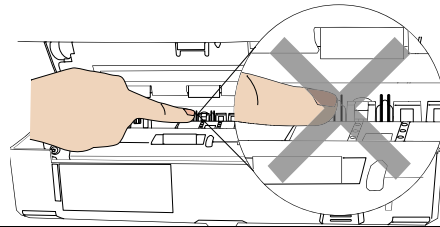


清掃には、吸収性のよい布またはウェスを使用し、底面のよごれをやさしくふき取るようにしてください。インクが固まってしまった場合は、湿らせた布でやさしくふき取ってください。インクは水性ですので、水でふき取ることができます。

1. スキャナの電源を切断します。
2. プリントカートリッジを取り外します。  
（「3.4. プリントカートリッジの交換」を参照）
3. 印字部を開きます。
4. プリントカートリッジホルダーの底面に、布などを軽く押し当てるようにしてよごれをふき取ります。



清掃の際に、印字部側に付いている金属ローラーに触れないように注意してください。



5. よごれなどがふき取られたことを確認し、印字部を閉じます。
6. プリントカートリッジを取り付けます。  
（「3.4. プリントカートリッジの交換」を参照）



### 4.3. ローラーの清掃

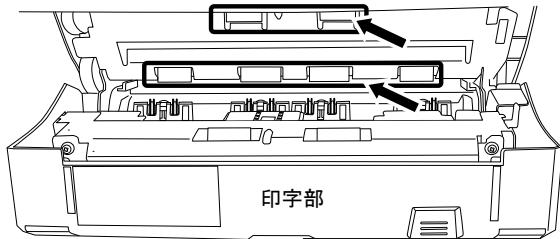
搬送部のローラー表面にインクや紙粉などのよごれが附着した場合、原稿が正しく搬送されなくなることがあります。このような状態にならないように、定期的にローラー表面を清掃してください。



目安として、1,000枚読み取るごとに清掃を行ってください。実際の清掃周期は、使用頻度や原稿によって異なる場合があります。

1. 印字部を開きます。
2. ゴムローラーを清掃します。

搬送部の下にある6箇所のゴムローラーを清掃してください。



ローラー表面に、少量のクリーナF1をしみこませた布を軽く押し当てるようにしてよごれをふき取ります。

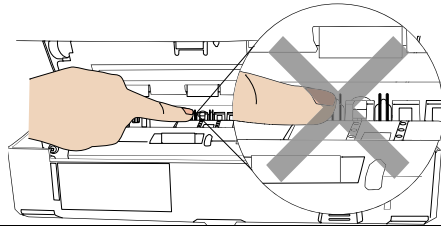


クリーナF1を大量に使用すると、なかなか乾かない場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。

ゴムローラーを指で適宜回転させて、ローラー全体を清掃してください。

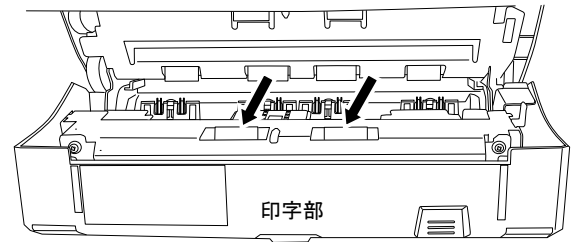


清掃の際に、印字部側に付いている金属ローラーに触れないように注意してください。



3. プラスチックローラーを清掃します。



印字部にある2つのプラスチックローラー（黒）を清掃してください。



指で回転させながら、ローラー表面に、少量のクリーナF1をしみこませた布を、軽く押し当てるようにしてよごれをふき取ります。

4. よごれなどがふき取られたことを確認し、印字部を閉じます。

### 4.4. 清掃用品

品名	型名	備考
クリーナF1 	FI-C100CF1	容量: 100ml
クリーニングワイプ 	FI-C100CW	1箱(24袋入り) (*1)(*2)

※1 清掃用品の詳細については、本製品を購入された販社/販売店または株式会社 PPU PPU ダイレクトにお問い合わせください。

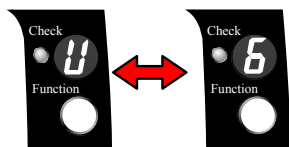
※2 クリーニングワイプは、クリーナF1をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナーです。クリーナF1を布にしみこませる代わりに、本品を使用することができます。



・清掃用品を正しく安全にご使用いただくために、清掃用品に記載されている注意事項をよくお読みください。  
 ・クリーナF1を大量に使用すると、なかなか乾かない場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。

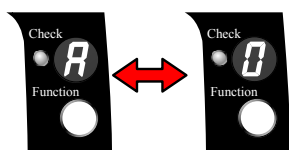
## 第5章 エラーメッセージ

ファンクションナンバーディスプレイが以下のように表示される場合は、インプリンタに異常が発生しています。



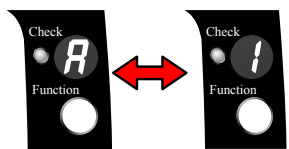
**内容:** プリントカートリッジがセットされていません。

**対処方法:** インクカバーを開けて、プリントカートリッジが正しく装着されているかどうか確認してください。



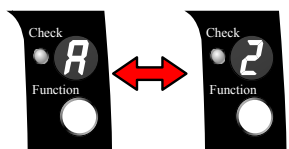
**内容:** インプリンタのコントロールボードに異常が発生しました。

**対処方法:** 一度スキャナの電源を切断してから、EXT ケーブルが正しく接続されていること、およびプリントカートリッジが正しく取り付けられていることを確認して、再び電源を投入してください。  
症状が改善されない場合は、本製品を購入された弊社/販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターにご連絡ください。



**内容:** インプリンタに通信タイムアウトエラーが発生しました。

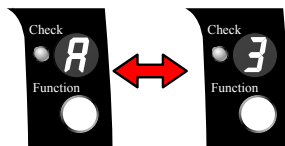
**対処方法:** 一度スキャナの電源を切断してから、EXT ケーブルが正しく接続されていること、およびプリントカートリッジが正しく取り付けられていることを確認して、再び電源を投入してください。  
症状が改善されない場合は、本製品を購入された弊社/販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターにご連絡ください。



**内容:** インプリンタのインクヘッドに異常が発生しました。

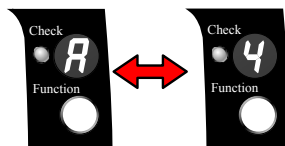
**対処方法:** 一度スキャナの電源を切断してから、EXT ケーブルが正しく接続されていること、およびプリントカートリッジが正しく取り付けられていることを確認して、再び電源を投入してください。

症状が改善されない場合は、本製品を購入された弊社/販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターにご連絡ください。



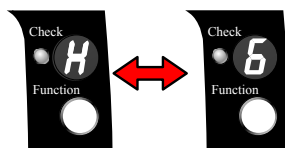
**内容:** インプリンタ装置の内蔵メモリ (EEPROM) に異常が発生しました。

**対処方法:** 一度スキャナの電源を切断してから、EXT ケーブルが正しく接続されていること、およびプリントカートリッジが正しく取り付けられていることを確認して、再び電源を投入してください。  
症状が改善されない場合は、本製品を購入された弊社/販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターにご連絡ください。



**内容:** インプリンタの ROM に異常が発生しました。

**対処方法:** 一度スキャナの電源を切断してから、EXT ケーブルが正しく接続されていること、およびプリントカートリッジが正しく取り付けられていることを確認して、再び電源を投入してください。  
症状が改善されない場合は、本製品を購入された弊社/販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターにご連絡ください。



**内容:** インプリンタの回路に異常が発生しました。

**対処方法:** 一度スキャナの電源を切断してから、EXT ケーブルが正しく接続されていることを確認して、再び電源を投入してください。  
症状が改善されない場合は、本製品を購入された弊社/販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンターにご連絡ください。



その他のエラーについては、

fi-6130/fi-6140/fi-6130Z/fi-6140Z に添付されている Setup DVD-ROM 内の『fi-6130/ fi-6230 イメージスキャナ オペレーターガイド』、『fi-6140/ fi-6240 イメージスキャナ オペレーターガイド』、または『fi-6130Z/fi-6230Z/fi-6140Z/fi-6240Z イメージスキャナ オペレーターガイド』を参照してください。

## 第6章 仕様

項目	説明
印字方式	サーマル・インクジェット
印字タイプ	ポストインプリンタ（読み取り後に印字）
印字文字	アルファベット：A～Z, a～z 数字：0, 1～9 記号：! " \$ # % & ' ( ) * +, - . / : ; < = > ? @ [ ¥ ] ^ _ ' {   } ~
最大印字文字数	最大 43 桁
印刷方向	標準：0°，180°（横書き），90°，270°（縦書き） 細幅字：0°，180°（横書き）
文字サイズ	標準：縦 2.91mm×横 2.82mm（横書き），縦 2.82mm×横 2.91mm（縦書き） 細幅字：縦 2.91mm×横 2.12mm（横書き）
文字ピッチ	3.53mm（標準） 2.54mm（細幅字）
フォントスタイル	標準、太字
文字幅	標準、細幅字
使用可能な原稿	fi-6130/fi-6140/fi-6130Z/fi-6140Z で使用可能な原稿 fi-6130/fi-6140 の詳細は、『fi-6130/ fi-6230 イメージスキャナ オペレーターガイド』または『fi-6140/ fi-6240 イメージスキャナ オペレーターガイド』の「第7章 ADF にセットする原稿について」を参照してください。 fi-6130Z/fi-6140Z の詳細は、『fi-6130Z/ fi-6230Z /fi-6140Z /fi-6240Z イメージスキャナ オペレーターガイド』の「2.3 ADF で読み取りできる原稿」を参照してください。  <ul style="list-style-type: none"> <li>感熱紙、熱転写用紙、コート紙、アート紙など、表面に光沢のある原稿はインクの乾きが悪く、印字が不良になる場合があります。また、清掃周期も短くなります。</li> <li>クレジットカードのような厚みのあるプラスチック原稿、および ScanSnap A3 キャリアシートは読み取ることができません。</li> </ul>
印字領域	 <p>A=5mm B=5mm C=5mm D=5mm</p>  <p>原稿の端から 5mm の領域には印字をしないでください。</p>
印字位置精度	搬送方向：±4mm（開始位置）
寸法	インプリンタ単体：301（幅）×251（奥行き）×139（高さ） [mm] （インターフェースケーブル、ADF 給紙シュート、スタッカーを除く） スキャナ搭載時：301（幅）×253（奥行き）×203（高さ） [mm]
重さ	2.7 kg
動作環境	温度：10～35℃、湿度：20～80%
消耗品	プリントカートリッジ（型名：FI-C200PC）（19 ページ「サプライ用品の購入先」参照） 印字可能文字数：4,000,000 文字（ただし、フォントの指定に依存して減少する場合があります。） 交換周期（目安）：4,000,000 文字または開封後半年

※保守サポート期間は、お客様の購入後 5 年間です。

本装置の修理部品の最低供給期間は、製造中止後 5 年間です。

## 修理・お問い合わせ

当社では、お客様に安心して業務用 イメージ スキャナ fi シリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入いただく契約サービスと、必要なときにその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

### ■契約サービス

事前に契約を結んでいただくことで、ご購入後も万全のサポートを提供いたします。

#### ◆定額定期保守サービス

年に1度予防保守を行います。

万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおうかがいして保守修理作業を実施します。

#### ◆定額訪問修理サービス

万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおうかがいして保守修理作業を実施します。

### ■スポットサービス

必要なときに、その都度ご利用いただけます。

#### ◆訪問修理(有償)(\*1)

本製品の故障発生時にご連絡いただくと、その後、サービスエンジニアが直接修理にうかがいます。

#### ◆持込/センドバック修理(有償)(\*2)

本製品の故障発生時にお客様の製品を当社の修理センターで修理します。

#### ◆付加サービス

センドバック修理には、次の付加サービスがあります。

- ・引き取り修理サービス(有償)(\*1)

\*1 保証期間中の場合も有償となります。

\*2 保証期間内に正常な使用状態で故障した場合は、無償で修理いたします。

詳細はホームページをご覧ください。

<http://imagescanner.fujitsu.com/jp/support/maintenance-service/index.html>

## ■ サービスセンター窓口

お客様からの業務用 イメージ スキャナ fi シリーズ全般に関する操作や故障のお問い合わせに迅速に対応いたします。

PFU イメージング サービス&サポートセンター  
お問い合わせ先

E-mail : [scanners@pfu.fujitsu.com](mailto:scanners@pfu.fujitsu.com)

電話 : 0120-37-9089

携帯電話からおかけの場合 : 042-788-7746

お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。

ホームページ : <http://imagescanner.fujitsu.com/jp/support/>

受付時間 : 月～金曜日 9 : 00～12 : 00、13 : 00～17 : 00  
(土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く)

保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。  
保証期間は、本製品ご購入日から6か月です。

本サービスは、予告なく変更される場合がございます。

詳細については、当社ホームページでご確認いただくか、PFU イメージング サービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

なお、お問い合わせの際は、型名（モデル名）、製造番号（シリアルナンバー）、症状（ファンクションナンバーディスプレイの表示、故障時期、故障頻度など）を事前にお調べください。

- ・本製品の修理はお客様自身で行わないでください。
- ・本製品の保証条件は同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- ・本製品の修理部品の供給期間は製造中止後5年間です。

## ■ サプライ用品の購入先

清掃用品や消耗品などのお問い合わせやご購入については、本製品を購入された販社/販売店または株式会社PFU PFUダイレクトにお問い合わせください。

株式会社 PFU PFUダイレクト  
お問い合わせ先

E-mail : [shop@pfu.fujitsu.com](mailto:shop@pfu.fujitsu.com)

電話 : 0120-14-4541

お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。

ホームページ : <http://www.pfu.fujitsu.com/direct/>

受付時間 : 月～金曜日 9 : 00～12 : 00、13 : 00～17 : 00  
(土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く)